

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 060	提案機関 名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 今後の種苗放流等について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 当事業団は、水産資源の維持拡大、沿岸漁業者の経営安定を図るため、葉山町から湯河原町地先に、サザエ・アワビ・ハマグリ・トコブシ・マダイ・ヒラメ・カサゴ・メバル・マコガレイ等の種苗放流を実施している。 ○ 現在、種苗の種類、放流場所・時期は、各組合の要望により実施している。 ○ 相模湾の漁場環境等に照らして、種苗種類毎の放流場所・時期・大きさ等の調査、指導並びに放流後の育成、分布等、調査を要望する。 ○ 相模湾に適し、放流効果が期待できる新しい種苗の開発について要望する。 ○ 当事業団は、ハマグリ種苗を千葉県より購入し、小坪、鎌倉、腰越、茅ヶ崎市、平塚市漁協に放流しているが、放流種苗個体の大きさが、近年大型し、放流数が計画以下となるのが現状である。第8次県栽培基本計画では、ハマグリ種の種苗生産技術の開発が計画されておりますので、早急の種苗生産技術の開発を要望する	
解決希望年限	① 1年以内 ② 2～3年以内 ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	① 農業技術センター ② 畜産技術センター ③ 水産技術センター ④ 自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	① 実施 ② 実施中 ③ 継続検討 ④ 実施済 ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ○ マダイ、ヒラメ、トラフグ、サザエ、アワビといった魚種を対象に、柴、松輪、城ヶ島、三崎、長井、大楠、小田原の各市場において水揚げ物の調査を行い、放流効果を検証しております。効果的な栽培漁業の推進にこうした調査データを活かしてまいります。 ○ ハマグリ種の生態調査については令和4年、5年にかけて個体識別番号を刻印したハマグリ小型種苗放流調査を実施し、藤沢・鎌倉で漁獲されたハマグリ種の成長・成熟データを集積し、今後分析を実施していきます。 ○ 新しい種苗の開発として、トラフグ種の標識放流を実施しており、適切な放流場所、放流尾数、放流方法について検討しております。こうした研究で得られた知見は、随時情報提供してまいります。 ○ 県では、第8次栽培漁業基本計画において、令和8年度を目標年度として、ハマグリ類の親貝養成及び種苗生産の基礎技術開発を行うこととしました。当センターでは、令和4年度に先進県における技術開発状況の調査を実施し、令和5年度より本種の種苗生産に向けた基礎技術開発を進めております。			
解決予定年限	① 1年以内 ② 2～3年以内 ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内		
備 考			